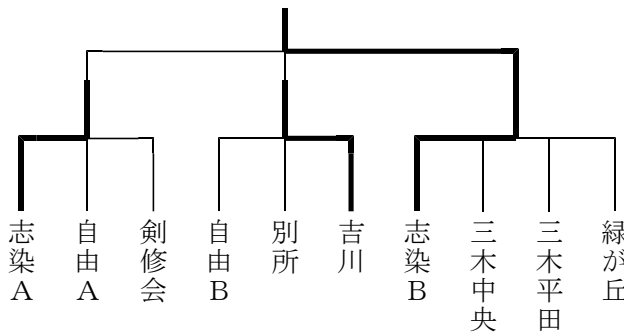


4人で戦うというハンディキャップを負いながら、決勝トーナメントに進出。同じように3人で予選リーグを戦い、勝ち上がってきた吉川を相手に3-2で勝ち、続いて同教室の志染Aに大接戦の末3-2で辛勝、優勝旗を手にした。志染SSD剣道部は、昨年度に引き続き本大会2連覇を果たし、三木市内では向かうところ敵なし、日頃の稽古の充実ぶりがうかがえた。3位は吉川剣道少年団だった。

志染B



小学生女子の部には、自由が丘と三木平田の2チームのみが出場。動きの素早い4年生トリオの自由が丘チームが試合経験の浅い三木平田を退け2連覇を果たした。



3位の吉川剣道少年団



準優勝の志染SSD、Aチーム



優勝した志染SSD、Bチーム

小学生女子の部 連覇して優勝杯を手にする自由が丘少年剣道教室の(右から)樋口、小林、中山の3選手



| | 志 | 吉川 | 志染B | 勝ち数 | 勝本数 | 勝者数 | 順位 |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|----|
| 志染A | | 7 / 4 | 4 / 2 | 1 | 11 | 6 | 2 |
| 吉川 | 0 / 0 | | 3 / 2 | 0 | 3 | 2 | 3 |
| 志染B | 6 / 3 | 6 / 3 | | 2 | 12 | 6 | 1 |

小学生男子の部 決勝リーグの対戦表

中学生個人男子の部入賞選手。右から、優勝岡本、準優勝今福、3位松本、同じく3位藤田(全員自由中2年)の4選手



中学生の部 男子個人戦は自由中勢が独占
 14名が出場した中学生個人男子の部のトーナメント戦が行われた。内、自由が丘中学から9名、三木中央から1名、志染SSDから2名、三木別所少年剣道教室から1名の13名に加えて、三木中央の濱邊選手が女子の部に1名のみ出場者であったため、男子個人戦で出場するというやや変則的な試合となった。
 結果は、自由が丘中学校の2年生ばかりがベスト4に進出し、決勝は岡本稜平選手が今福謙大選手を破り優勝した。3位には、藤田也翔選手と松本晟弥選手が入った。